

キャラクター名
郡 深紅 (こおり しんく)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ウロボロス		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	高校一年生	性別	男
覚醒	命令	衝動	憎悪	初期侵食率	33 %	
出自	母親不在	経験	汚れ仕事	邂逅	ビジネス (ルナリア・ナイトレイ)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	3	0	0			3	行動値	9
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	9
精神	3	1	3			7	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
青蓮 (せいれん) @100-	RC	10r+4		18 +6		コンセ+氷の塔+餓えし影 (+費)/範囲 (選択)/同エンゲージ不可/C値8/侵蝕8 ダイス+3/エフェクト+1
黒縄 (こくじょう)	RC	13r+4		24 +9		100↑/コンセ+プラズマ+餓えし影 (+費)/単体/C値7/侵蝕8
大紅蓮 (だいがれん)	RC	13r+4		42 +9		100↑/上記+氷の塔/単体/同エンゲージ不可/C値7/侵蝕12

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部 思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
究極のゼロ (アブリュート・ゼロ)	P	N		
仇	P 憧憬	N 憎悪		
シナリオロイス: 佐和山光彦 (昇華)	P 有為	N 隔意		
上本荒土	P 感服	N 脅威		
ルナリア (昇華)	P 連帯感	N 無関心		
雨宮潤 (昇華)	P 好奇心	N 不快感		
リリー	P 連帯感	N 隔意		

最大財産P: 2 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:サラマンダー	3	2+1	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-Lv (下限7) /Dロイス効果で判定ダイス+3個、侵蝕3							
氷の塔	5	4	メジャー	視界	範囲 (選択)	RC	-	
効果:	攻撃力:[Lv*3]の射撃攻撃/同エンゲージ不可							
餓えし影	1	1	メジャー	視界	-	RC	-	
効果:	攻撃力:[Lv+2]の射撃攻撃							
プラズマカノン	3	4	メジャー	視界	単体	RC	100↑	
効果:	攻撃力:[Lv*5]の射撃攻撃							
喰らわれし贄	2	1	オート	至近	自身	-	-	
効果:	オーヴァードに1点でもHPダメージを与えた際に使用/シーン中のウロボロスのエフェクトを組み合わせた攻撃力+[Lv*3]/1シーン1回							
先陣の火	2	2	セットアップ	至近	自身	-	-	
効果:	ラウンド中、行動値+[Lv*5]/1シーン1回							
快適室温	★	-	メジャー	視界	効果参照	自動成功	-	
効果:	シーン内の気温をあなたが快適だと思う温度に調節できる、シーンの一部だけを変更してもよい							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【Kingdom Comeの後】
 それが命令ならば……というのが口癖の深紅だったが、あの転校生に従う気にはなれなかった。
 上司は二人も必要ない。それに、どうやら人形にも人を選ぶ権利というものはあるらしい。
 任務を共にする者たちを見て、なんとなくそう感じたのだった。
 ちなみに、何かあったら頬や髪を引っ張るといふコミュニケーション(?)を覚えたようだ。
 かつてバンド活動とやらをさせられていた時に縁のあった者たちから無意識に学んでしまったものらしい。

目標の邪魔になる敵を一掃することを念頭に置き、自分が先陣を切ろうと深紅は考えた。
 まず弱い者から蹴散らすことで、より効率的に、円滑に任務を遂行することができるだろう。
 相変わらず攻撃しか行わないが、多少味方の被害についても考えるようになった……かもしれない。

【Gray Phantomの後】
 人に何かを言われれば「それが命令ならば」とビジネスライクに承諾する深紅。
 そんな彼に友人……?ができた。
 しかし、人と深く関わってこなかったため、友人というものがどういう存在なのかいまいち理解できていない。
 拒否できる命令? いざという時に頼る存在?
 チルドレンとしては経験豊富な部類に入る深紅だが、人間として学ぶべきところは多い。

黒い炎を秘めたまま凍り付いた彼の心は、そう簡単に溶けそうにはない。
 現世との縁は、深い憎しみによって保たれているのが現状だ。